

施設等凡例

想定条件

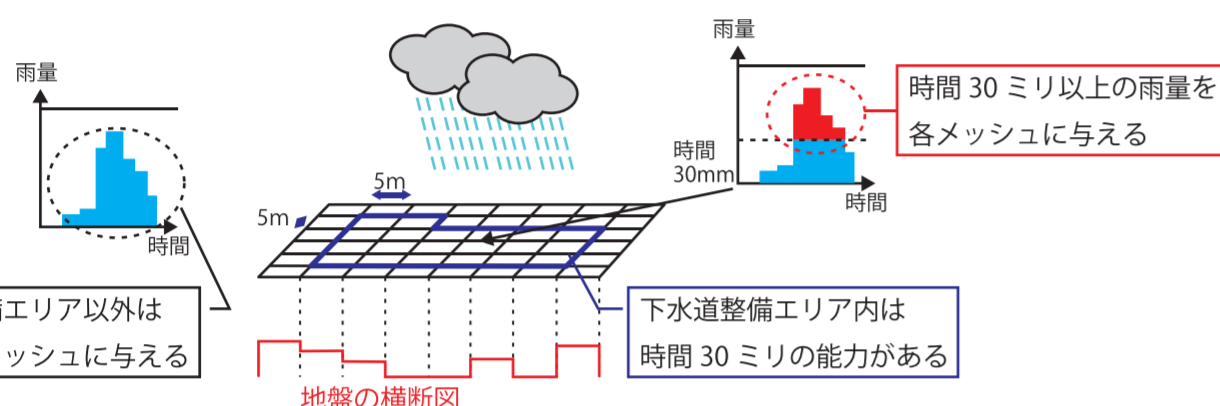
- 医療機関
- 消防
- 警察
- 区役所
- アンダーパス
- 新幹線
- JR
- 主要道路
- 行政区界
- 下水道計画区域(雨水)

1時間で  
153mmの降雨  
※九州北西部地区の想定最大規模降雨

浸水継続時間  
(浸水深0.45m以上)

- 12時間以上～24時間未満
- 24時間以上

●簡易手法の説明  
水路情報から各排水区の排水能力を推定し、有効降雨(1時間降雨153mm)から排水能力を差し引いた降雨を解析モデルに入力して浸水シミュレーションを実施しています。



※流出解析モデル活用マニュアル 2017年3月 公益財団法人 日本下水道技術機構参照

熊本市

水路や下水道(雨水)からあふれた  
場合の浸水想定区域図

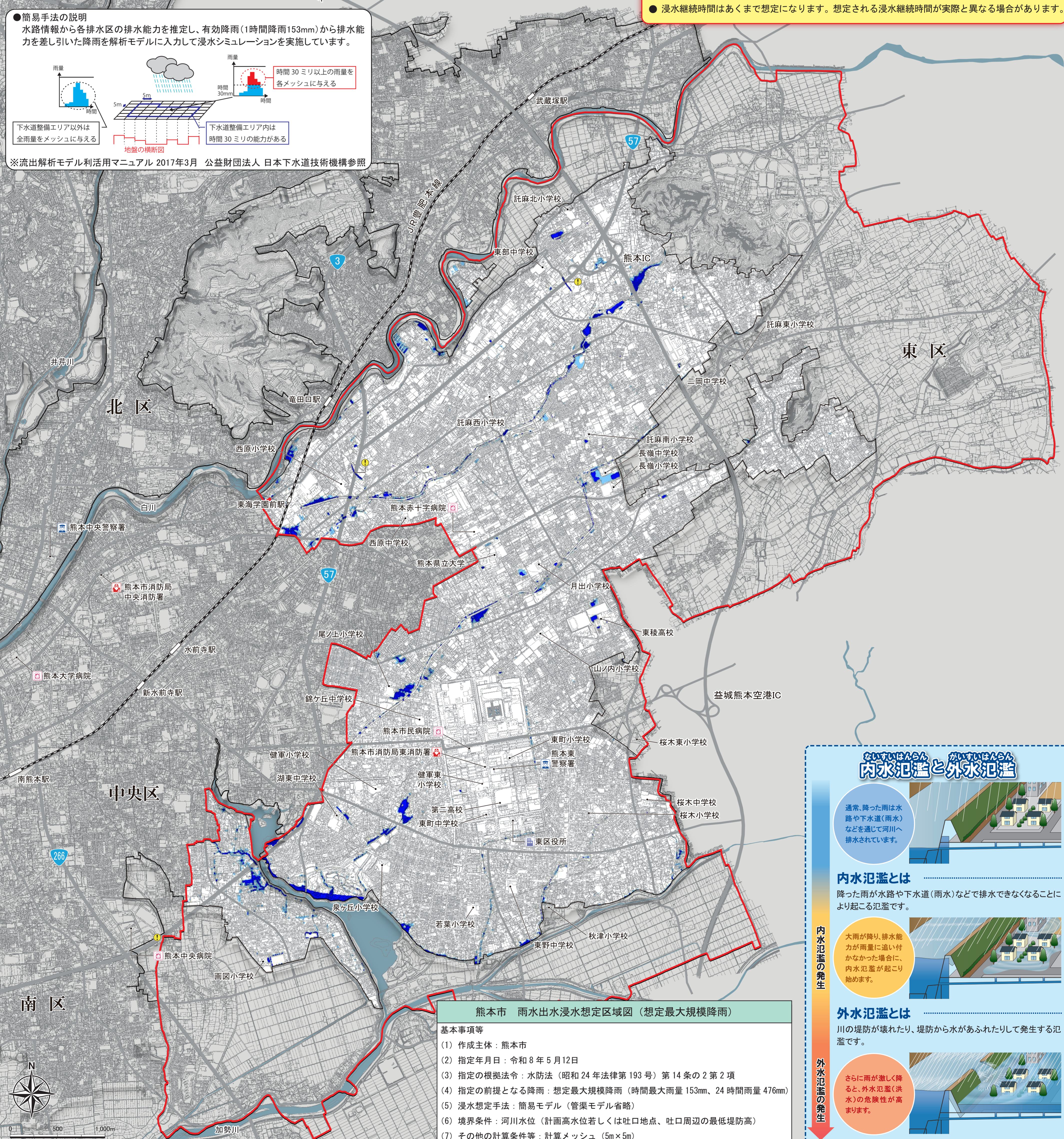
雨水出水浸水想定区域図

浸水継続時間(東区)

【発行】熊本市 都市建設局 土木部 河川課 雨水対策室  
TEL:096-328-2571 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号(令和8年作成)

このマップについて

- このマップは、熊本市の下水道計画区域(雨水)において、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨によって内水氾濫が発生した場合に0.45m以上の浸水が継続する時間を浸水シミュレーションにより示したものです。
- 浸水シミュレーションは、想定最大規模の降雨(1時間降雨153mm)が熊本市全域で降り、放流先河川の水位が高い場合を想定して実施しています。また、浸水シミュレーションは、管渠モデルを必要としない簡易手法を用いて実施しています。簡易手法のため、浸水リスクが大きく表示されている可能性があります。
- 堤防の決壊や河川からあふれた水による氾濫(外水氾濫)は考慮していません。外水氾濫による浸水継続時間については、熊本市ハザードマップをご確認ください。
- 浸水継続時間はあくまで想定になります。想定される浸水継続時間が実際と異なる場合があります。



内水氾濫と外水氾濫

通常、降った雨は水路や下水道(雨水)などを通じて河川へ排水されています。

**内水氾濫とは**  
降った雨が水路や下水道(雨水)などで排水できなくなることで起こる氾濫です。

**内水氾濫の発生**  
大雨が降り、排水能力が雨量に追い付かなかった場合に、内水氾濫が起こり始めます。

**外水氾濫とは**  
川の堤防が決壊したり、堤防から水があふれたりして発生する氾濫です。

**外水氾濫の発生**  
さらに雨が激しく降ると、外水氾濫(洪水)の危険性が高まります。

熊本市 雨水出水浸水想定区域図(想定最大規模降雨)

- 基本事項等
- (1) 作成主体：熊本市
  - (2) 指定年月日：令和8年5月12日
  - (3) 指定の根拠法令：水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項
  - (4) 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨(時間最大雨量153mm、24時間雨量476mm)
  - (5) 浸水想定手法：簡易モデル(管渠モデル省略)
  - (6) 境界条件：河川水位(計画高水位若しくは吐口地点、吐口周辺の最低堤防高)
  - (7) その他の計算条件等：計算メッシュ(5m×5m)

